

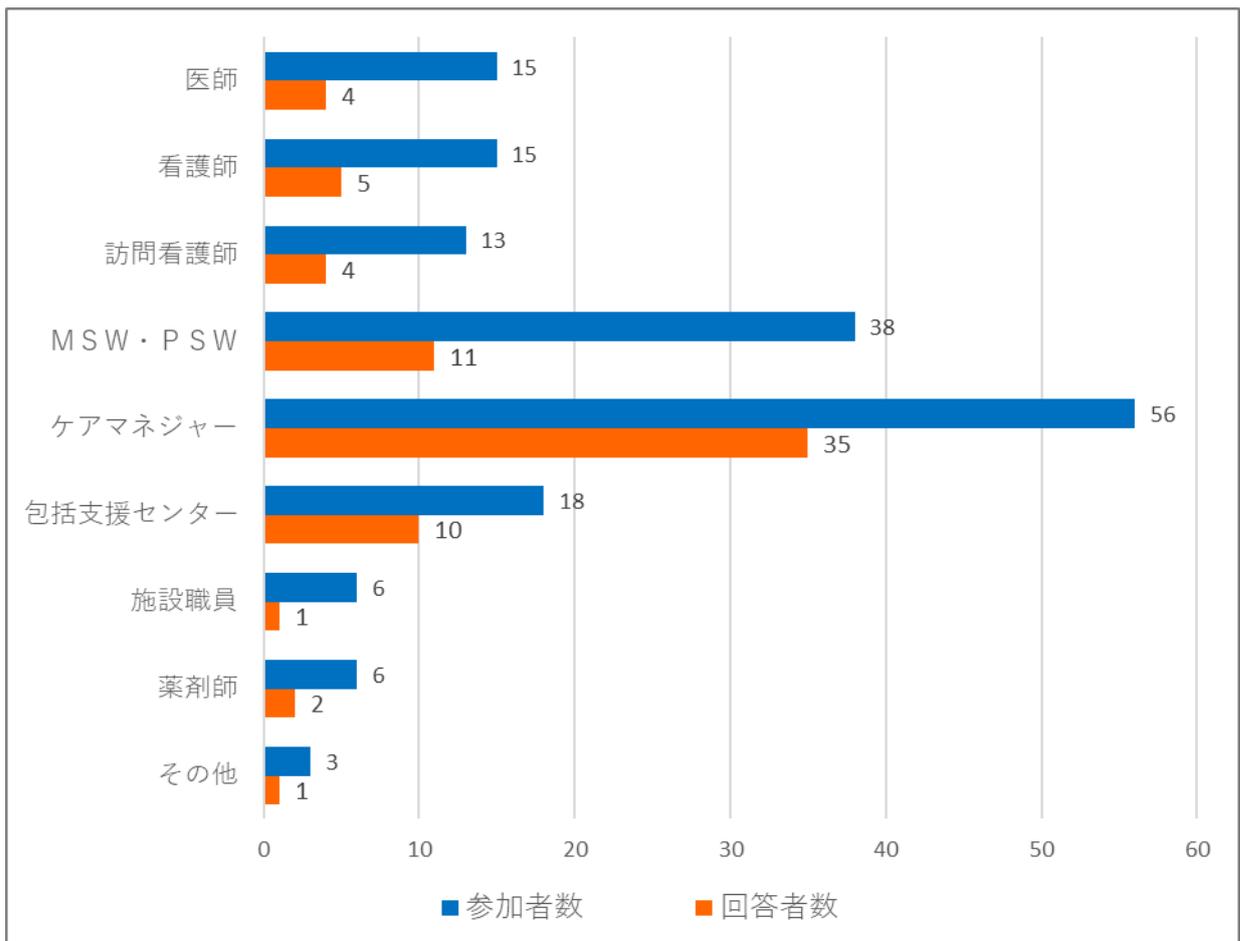
令和5年度大分市在宅医療・介護連携推進事業 第2回 在宅医療と介護に関する研修会
「家族の援助が得られない方の支援
～ 私たちは、どこまでできるか? ～」
報告書

1 日時 令和5年12月20日(水) 18:30~20:00

2 開催方法 オンライン (Zoom)

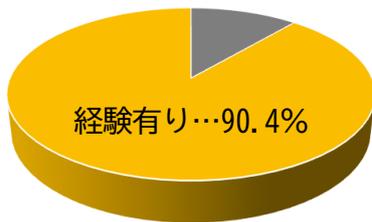
3 内容 第1部 講話 「家族の援助を受けられない方の支援
～さまざまなガイドラインから支援を考える～」
講師：弁護士法人 大分あおば法律事務所
弁護士・社会福祉士 田中 利武 氏
第2部 質疑応答

4 参加者(170名) 職種内訳と研修後アンケート回答数 (人)



5 事前アンケート集計結果（回答数94）

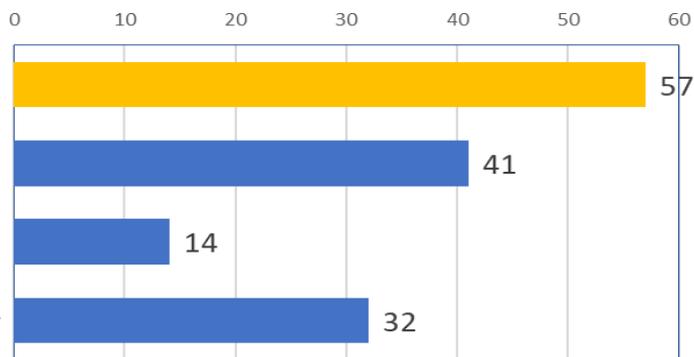
（質問1）家族の援助を得られない方を支援する上で、判断に困った経験の有無



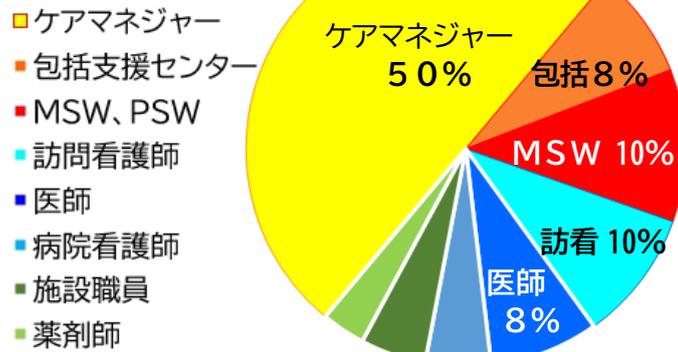
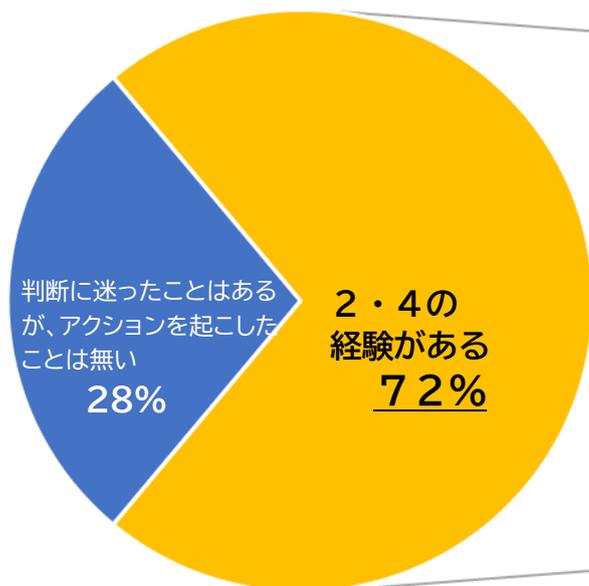
「経験無し」・・・ 9名
「経験有り」・・・ 85名

（質問2）どのような経験をしたか

1. 判断に迷ったことがある
2. 自分の仕事ではないように思ったが、支援を行ったことがある
3. 自分の仕事ではないと思ったので、しなかった／できなかったことがある
4. 自分の仕事ではない／できないと思ったので、適切と思われる職種につないだことがある。



（質問3）「経験有り」の方のうち、なんらかのアクション※上記2・4を起こした事がある方



(質問4) 質問1で「よくある」と感じるシチュエーション

生活面：買い物、代筆、手続き代行、様々な場所への同行、ポストへの投函

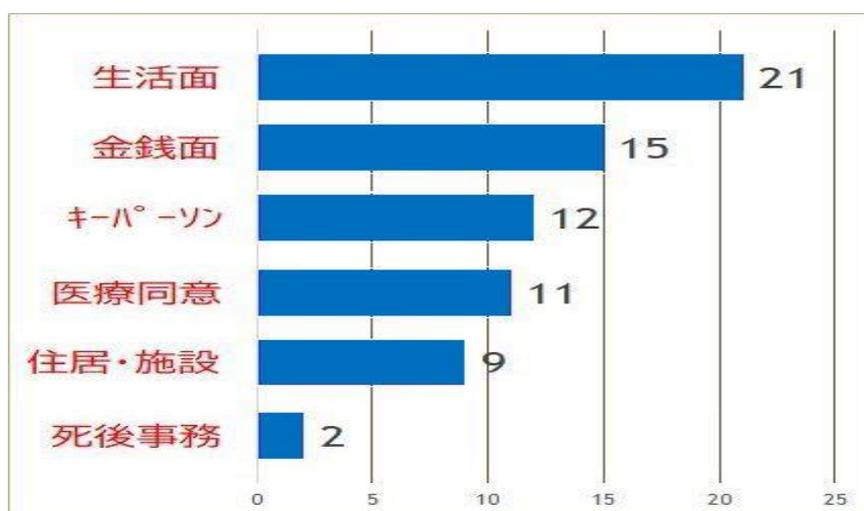
金銭面：入院のための持ち物の準備・現金・預金の管理（暗証番号失念等銀行とのやり取り）、公共料金の滞納と支払

キーパーソン：身寄りがない、家族からの支援が得られない、保証人・身元引受人がいない

医療同意：救急車の同乗、急変時の対応、入院や転院の手続き（同意のサイン）、IC の同席

住居・施設：入所施設の選定・契約、賃貸住宅の解約・退去、持ち家の管理、家財の処分

死後事務：葬儀の手配 等

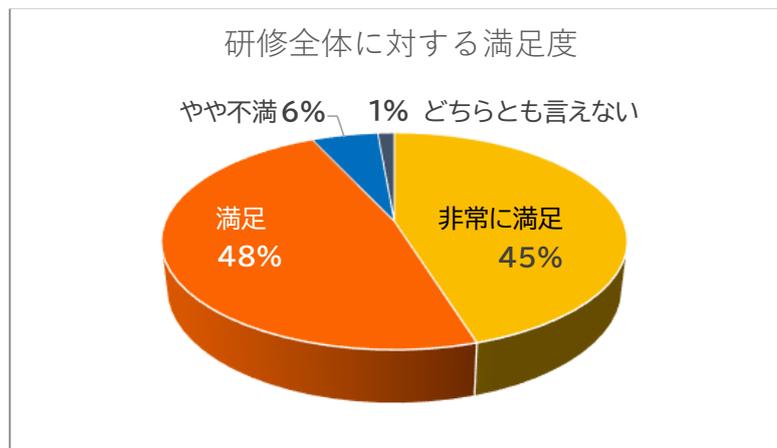


※ 以上のことから、上記のような医療・介護保険で賄えないような支援については、その6割近くを、居宅ケアマネジャーと包括支援センターが担っている様子が伺えます。

6 研修後アンケート集計結果 (回答数73)

(1) 研修全体の満足度

大変満足	33
満足	35
やや不満	4
どちらとも言えない	1



(2) (1)の回答理由

【どちらとも言えない / やや不満だった方】

- ・結果、解決できない問題なのと思った。[通所施設職員]
- ・明確な基準がない [ケアマネジャー]
- ・認知症の方の病院書類等のサインについて、明確な解決法が得られなかった。[看護師]

【大変満足 / 満足された方】

● とても分かり易かった / よく理解できた / ためになった (コメント 25 件より抜粋)

- ・事前アンケートの質問に、先生が具体的に答えてくださった。
- ・答えが出ない部分もあったが、はっきりした説明をいただいた。
- ・普段伺えないようなことを説明をしてくださったので、よく理解できた。
- ・医療から見た「ガイドライン」があることが理解できて良かった。
- ・法的にできることが分かって良かった。具体的な流れが分かり易く説明されていた。
- ・法的な根拠があるものとそうでないものがあること、ケアマネがしないと仕方がないことがあることが整理できた。

● 心構えができた (コメント 8 件より抜粋)

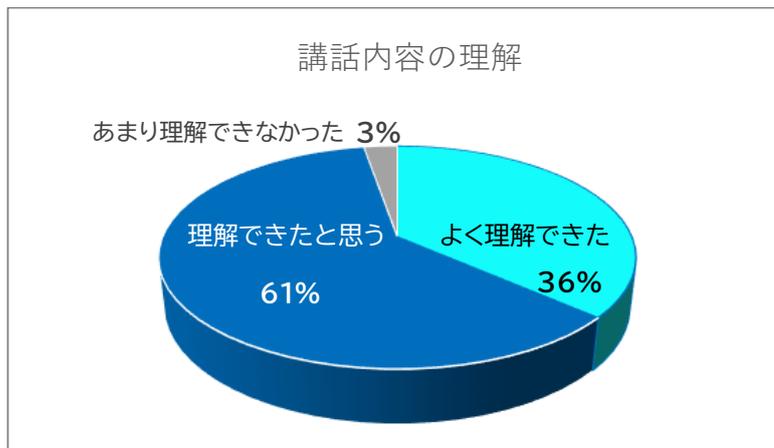
- ・最終的には介護側が関わる事になるのだろうと思った。利用者はどう関わっていくか、心構えができた。
- ・これから困難事例が増加した時にすべて完璧に解決しない事もあるのだと思った。成年後見制度を学びなおすきっかけになった。
- ・まだまだケアマネジャーが対応しないといけない事が多く、責任や負担が大きいと感じるが、「対応したことで責任に問われることはない」と仰っていただけたことが、大変心強く感じた。
- ・時代の変化とともに生活も、課題も変化することを改めて実感した。医療機関も時代にあわせて変化させ、必要な体制を整備する必要があると感じた。

● 共感した (コメント 3 件より抜粋)

- ・この時間帯に 170 人も参加して、「困りごとは皆一緒なんだ」と共感できた。

(3) 講話内容の理解

よく理解できた	27
理解できたと思う	45
あまり理解できなかった	2



(4) その他 ご意見・ご感想

- ・ ケアマネは結局、なんでもありきなのか・・・とってしまいました。[ケアマネジャー]
- ・ 講師の先生が、私たちの日頃の苦悩を理解してくださっていることに感謝します。“わかってくれている人がいる”…こういう悩みに日々向き合っているということを共有できただけで、非常に嬉しく思いました。医療と介護の連携、歩み寄り、お互いの立場の理解を深めていければもっと良い関係になれると思いました。[包括支援センター職員]
- ・ 身寄りのない方に対して、今後の介護や医療の意思決定を行う場面があった際には、どのように対策・対応していけば良いかの参考になりました。[ケアマネジャー]
- ・ 本日の研修で、本テーマの現状はまだ発展途上にある現実がよく分かりました。また、結局のところ、現場で関わる担当者が担わざるを得ず、その場を凌ぐために大変苦労されている状況が分かりました。今後ますます高齢者人口が増加していく中で、更なる社会資源の充実や発展が必要であると感じました。[行政職]

—— 以上 ご参加ありがとうございました。 ——